

観光ビッグデータを構成する各種データについて(イメージ)

○観光における「人の動き」を把握するための、観光に関わるデータソース

利用者データ活用の流れ

【各種サービスでの蓄積情報】

- ・ポータルサイト
- ・WEB検索
- ・経路検索
- ・宿泊・交通予約
- ・カーナビ
- ・ETC
- ・プローブ情報（プローブカー、バスプローブ、タクシープローブ）
- ・鉄道（IC乗車券）
- ・公共空間のセンサー（防犯カメラ、交通量カウンター）
- ・旅行業者の蓄積データ
- ・観光施設の蓄積データ



観光産業に係る
各種サービス等
(民間のデータ)

政府・自治体・
公共サービス等
(公のデータ)

観光行動を伴う
個人による
サービスの利用

「オープンデータ」の流れ

【公共サービスでの蓄積情報】

- ・地図情報
- ・道路交通量情報
- ・交通情報
- ・天候情報
- ・公共施設の情報
- ・観光資源の情報
- ・文化財等の情報
- ・国立公園の情報
- ・緊急時、非常時の情報（避難場所）
- ・各種統計（旅行統計、経済センサス等）



スマートフォン等の普及による消費者行動のデータ化の流れ

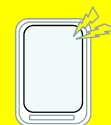
【SNSでの情報】

- ・Twitter
- ・Facebook



【スマートフォン、センサー等での情報】

- ・位置情報（GPSロガー）
- ・近傍検索（チェックイン）
- ・位置情報付きでの情報閲覧
- ・ライフログ
- ・生体センサー（心拍等）
- ・ポイント天候（気温、降水量、風）

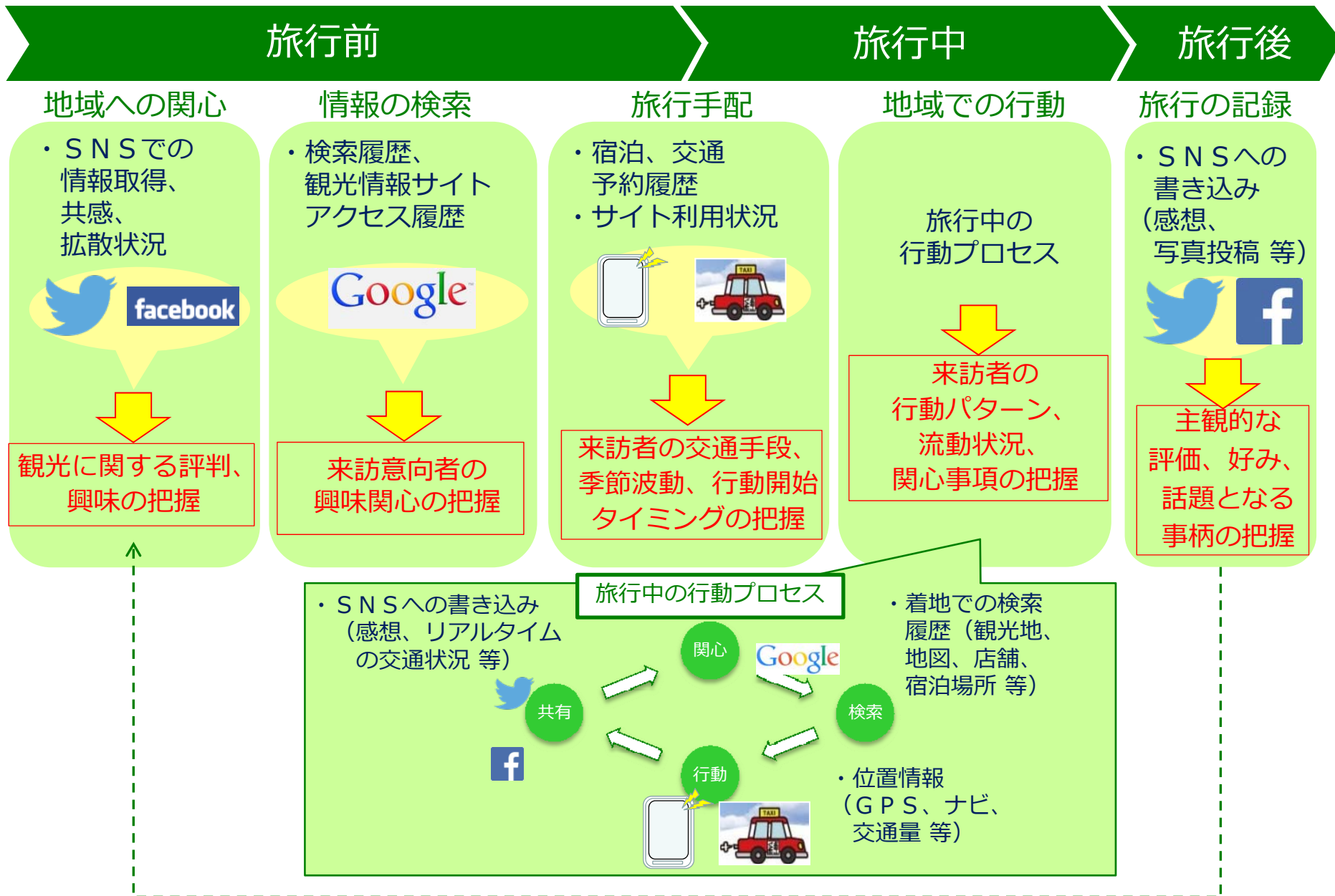


【アプリ、ゲーム等での情報】

- ・位置情報利用ゲーム
- ・宝探し
- ・スタンプラリー
- ・AR（仮想現実感）
- ・聖地巡礼



ビッグデータ解析へ



ビッグデータを利用した分析

定量的なデータに基づく来訪者の行動・動態の把握

観光地域の来訪者に係る基礎データの確立

○観光地域の特性の確認 ○地域間の相互比較 等

基礎データに基づいた戦略の立案

世界に通用する魅力ある
観光地域づくりの取組の実施